

効果的な感染対策を行うための 多職種連携について

北九州市立医療センター

感染管理担当係長

田中裕之

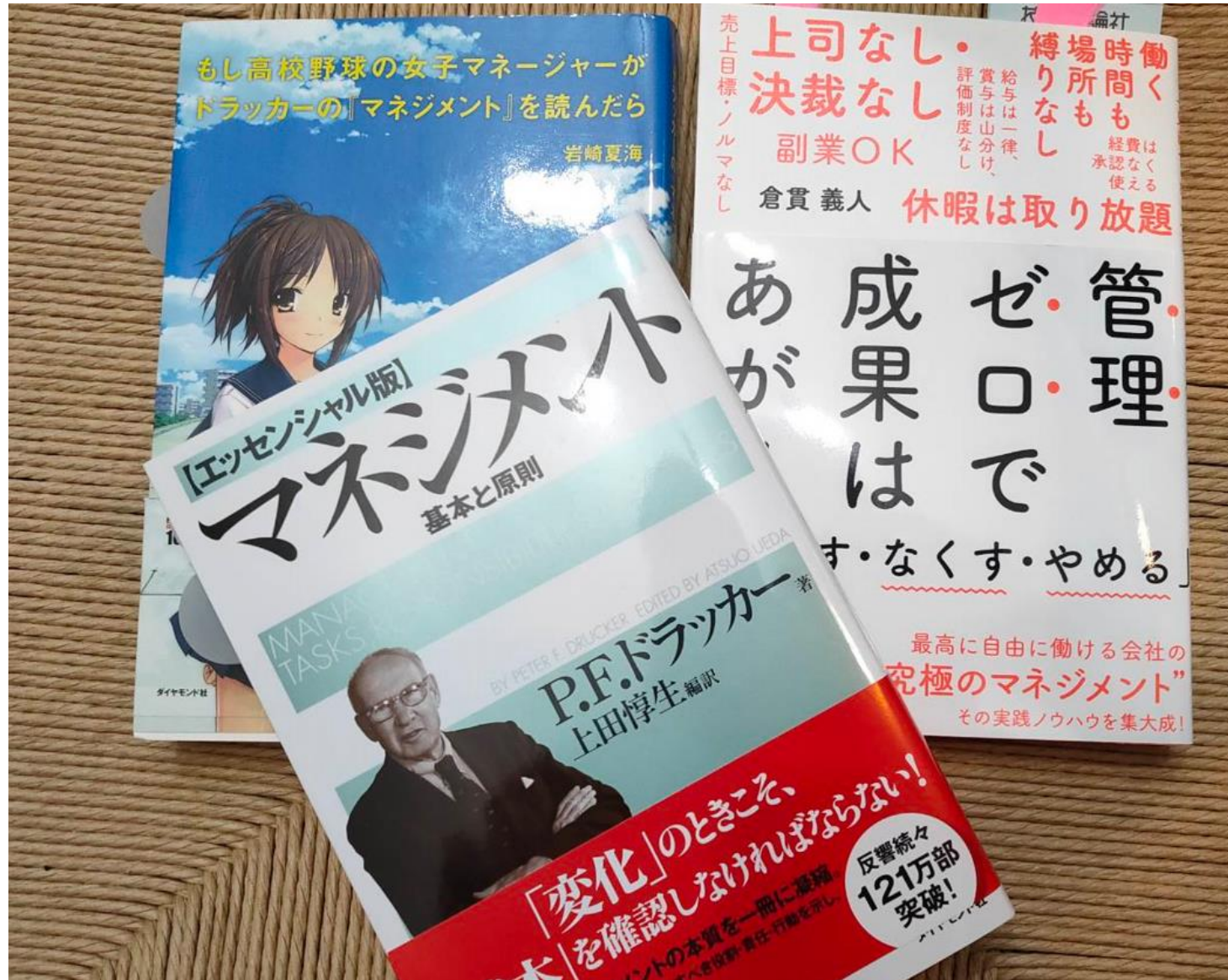
COIの開示

開示すべきCOI関係にある
企業はありません

本日の内容

- COVID19対応に必要であった多職種連携
- 多職種連携に有効であった要素
- 多職種連携を阻害する因子

参考文献



COVID19発生時 当院の機能・使命

市内発生時のCOVID19患者を受け入れる



- 外来診察
- 入院対応
- 各種検査
- 重症者対応
- 妊婦の対応

絶対に院内感染を起こさない

COVID19患者対応にあたり 当院で必要となった連携職種





目指すは
One Team



当時の当院職員の心境と行動

感染したらどうしよう

家族にうつしたら？

関わりたくない

うつったら死ぬ？

怖い



反対するぞ！

自分は
関わらない！

近寄らない！

恐怖・不安・不満



ICT(マネジャー)としての役割

根拠に基づき明確な
感染対策を示す

教育・実践
各部署との連携
ゾーニング
ハード面の整備
システム構築



きっとやれる
大丈夫

うつらない

みんなで頑張ろう

安心・安全

成果☆院内感染を起こさない



現場スタッフの指導
共に対応を実施



患者からの感染なく
OP・心臓カテーテルなどにも対応

多職種連携で重要 ～信頼関係～

心理学では心理的安全性

- 一率直な意見を述べる
- 一質問をする
- 一間違いを指摘する
- 一自分の間違いを認める
- 一新しいアイデアを提案する
- 一支援を求める 等

これらをしてもチームから疎外されたり馬鹿にされたりしないと信じられるチーム(関係)作りが重要

信頼関係築きにくくする行為



怒る

マネージャーの資質

真摯であること

それ以外は後の学習で身につく



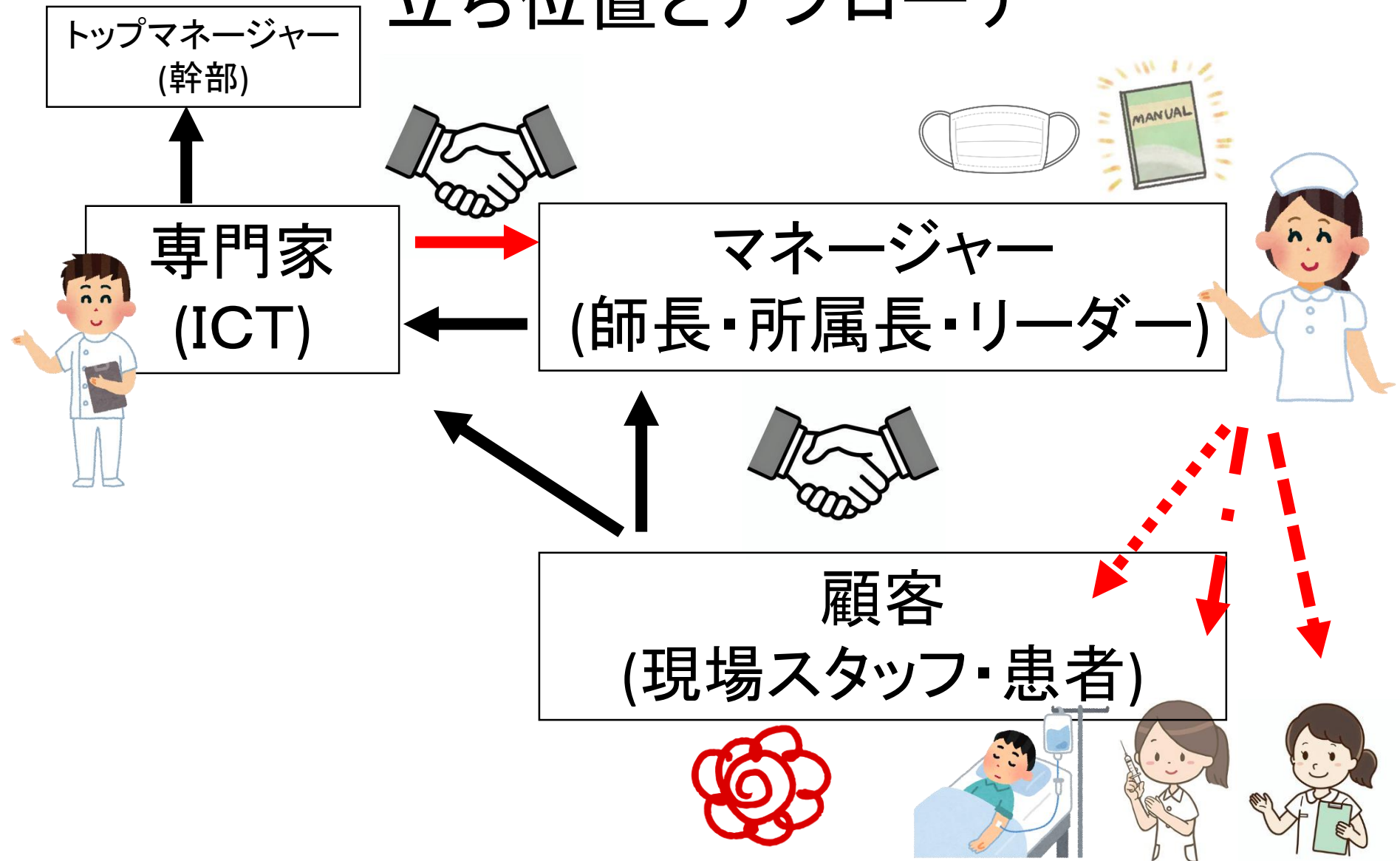
P・F・ドラッカー

効果的であった連携ポイント

1. 現場リーダーと共にマニュアルをつくる
2. 多少過剰対策は許容する(不安・不満が勝つ)
⇒慣れてきた時に改善を提案
3. 初回～数回は実施現場に立ち会う
4. 自分(ICT)の回答待ちにならないよう即返答
(他部署からは特に催促しにくい)
5. 検討は関連する実働トップ全員に集まってもらう

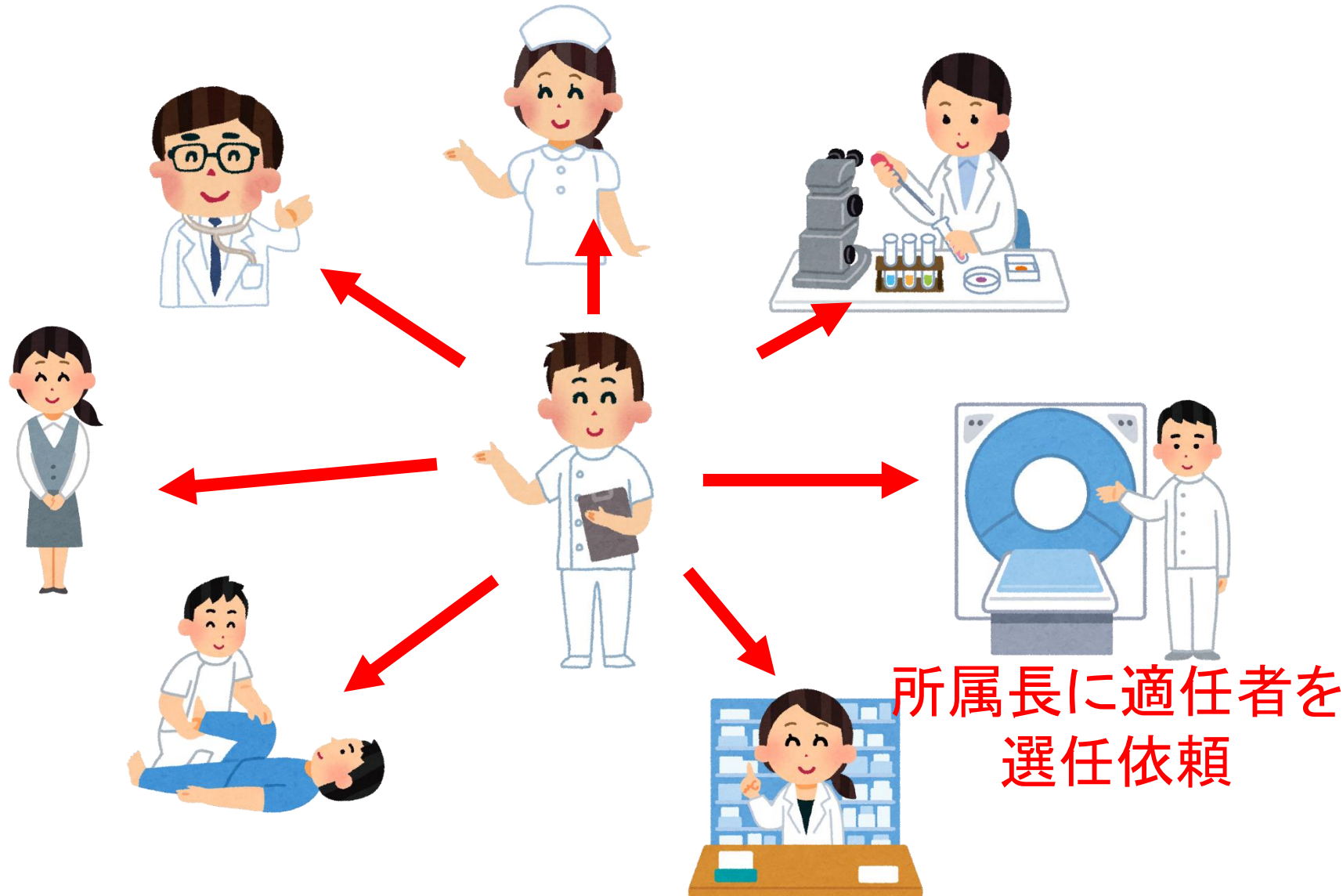


組織における専門家(感染対策担当)の 立ち位置とアプローチ



各現場のマネージャーと連携

(必ずしも所属長とは限らない)



マニュアル作成時に注意した点

- 具体的か
- 複雑でないか
- 現実的に可能か
- 継続が可能で、長く使えそうか
- 1部署に負担がかからないか



「専門家の言葉はわかりずらく
問題となるのは顧客とのコミュニケーション」



フルPPE・麻酔科PPE	直接PPE
フル ：タイベックスーツ防護服 麻酔科 ：直接PPE+OPガウン	長袖エプロン、帽子、手袋2重、N95、アイガード(フェイスシールド) EG:アイガード FC:フェイスシールド G:ゴーグル
気管支鏡、意識下挿管(麻酔科判断) ベットに乗る(足を上げる)行為 小児の抑制や抱っこ	EG 保清介助、体位変換、採血、CPA、BVM、排泄介助、排泄物処理 環境整備、シーツ交換、リハビリ、点滴ロック、アイスノ交換、移動 ----- (以下はフェイスシールド着用) ----- FC 食介・口腔ケア、NPPV・NHF・NBL、鼻腔検体採取 鎮静下挿管介助、ST介入、開放式吸引、挿管患者対応(加湿加温器) ----- (以下はゴーグルの上にフェイスシールド着用) ----- G+ 暴れる患者対応、顔に触れられる可能性がある患者対応
フル ----- 麻 枠無し挿管(麻酔科判断) OP、アンギオ、内視鏡	

現場の意見を聞き現実的なマニュアルに変更

間接PPE	清掃時PPE	PPEの脱衣介助
白エプロン、手袋、アイガード サージカルマスク(N95)	長袖エプロン、手袋、帽子 サージカルマスク、アイガード	長袖エプロン、手袋 サージカルマスク、アイガード
間接的な処置(入室時はN95着用) 巡視患者確認、点滴交換やアラームOFF 前室での介助 陽性者移動時の物品搬送やルート清掃	退室1時間後の部屋の清掃 (1時間以内に清掃に入場合はN95を 着用する) 死亡後の出棺介助	フルPPE脱衣介助 麻酔科PPE脱衣介助

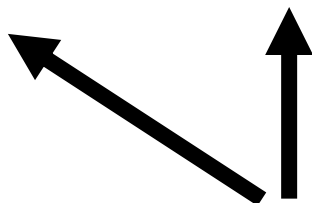
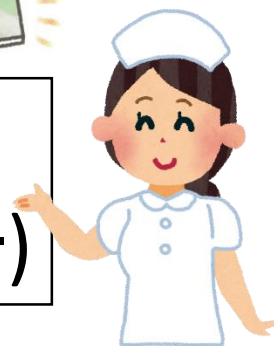
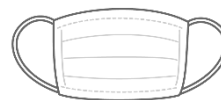
トップマネージャー
(幹部)



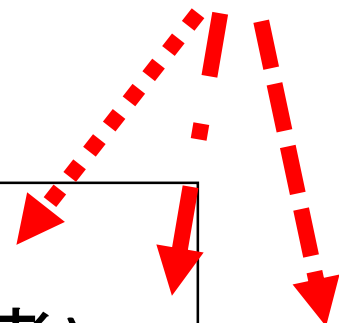
専門家
(ICT)



マネージャー
(師長・所属長・リーダー)



顧客
(現場スタッフ・患者)



『初回立ち会う』
職種によっては
問題点を認識
できない

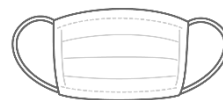
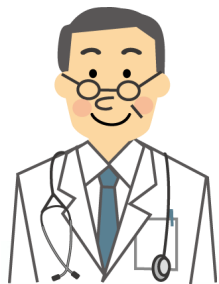




ICT
看護師

新しい取り組みの初回は必ず
立ち合い一緒に実施

トップマネージャー
(幹部)



専門家
(ICT)

マネージャー
(師長・所属長・リーダー)



顧客
(現場スタッフ・患者)



感染担当者の労力を割かれる事

緊急会議の開催

- メンバーの選定と時間調整
- 場所確保
- 連絡
- 検討資料と改善案作成



俺は聞いてないけど？



関係部署を呼ばないと責任感を失わせる

幹部・所属長に定例で集まってもらう

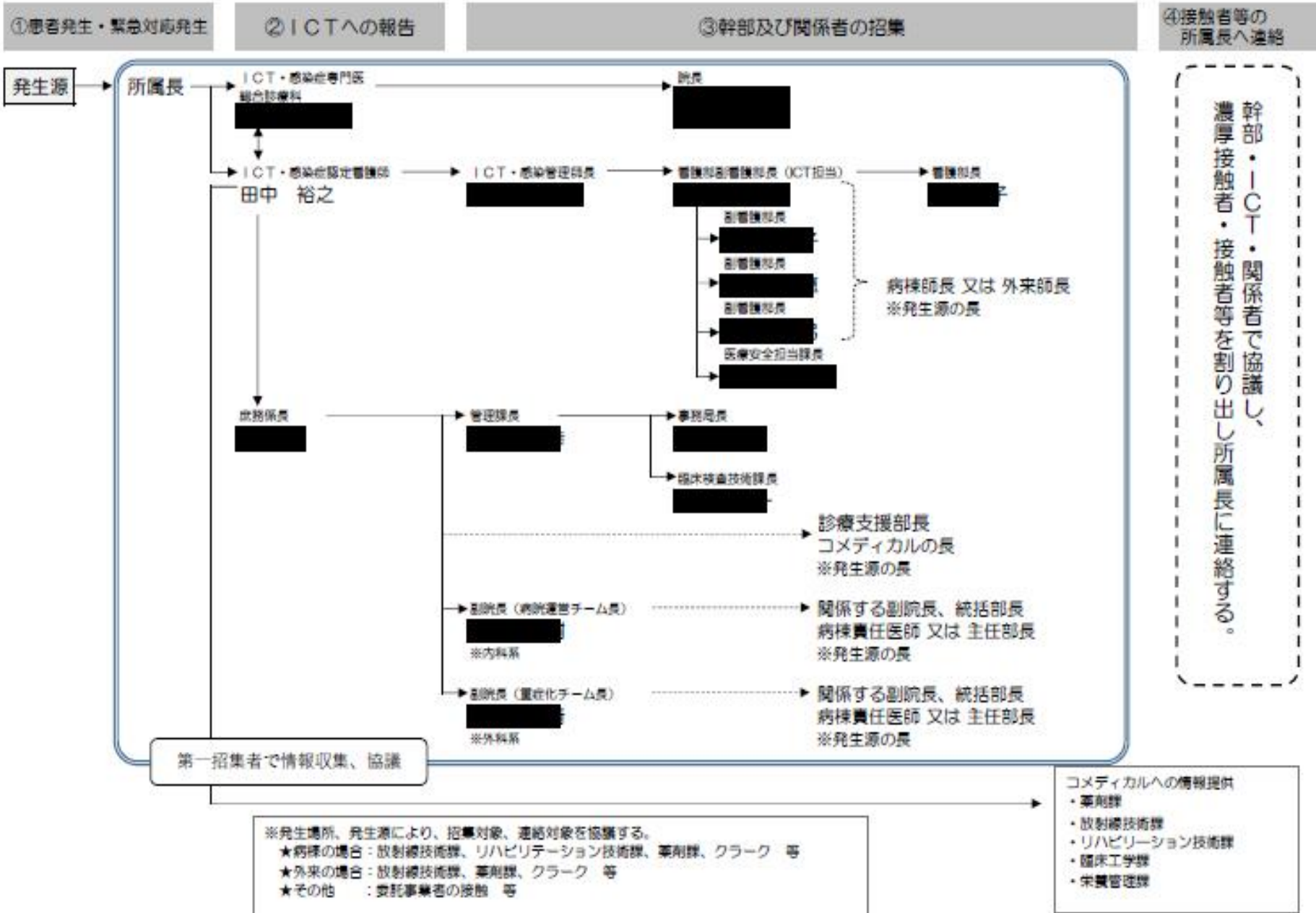
院長・副院長・ICT・各主任部長・看護部長
診療支援部課長 事務課長、係長、経営部門等



当院では毎朝 月・水・金(状況により変動あり)

当院 休日COVID19有事の連絡網を作成し 休日でもすぐに対応する体制

2/9/8



放射線課 技師さんの相談

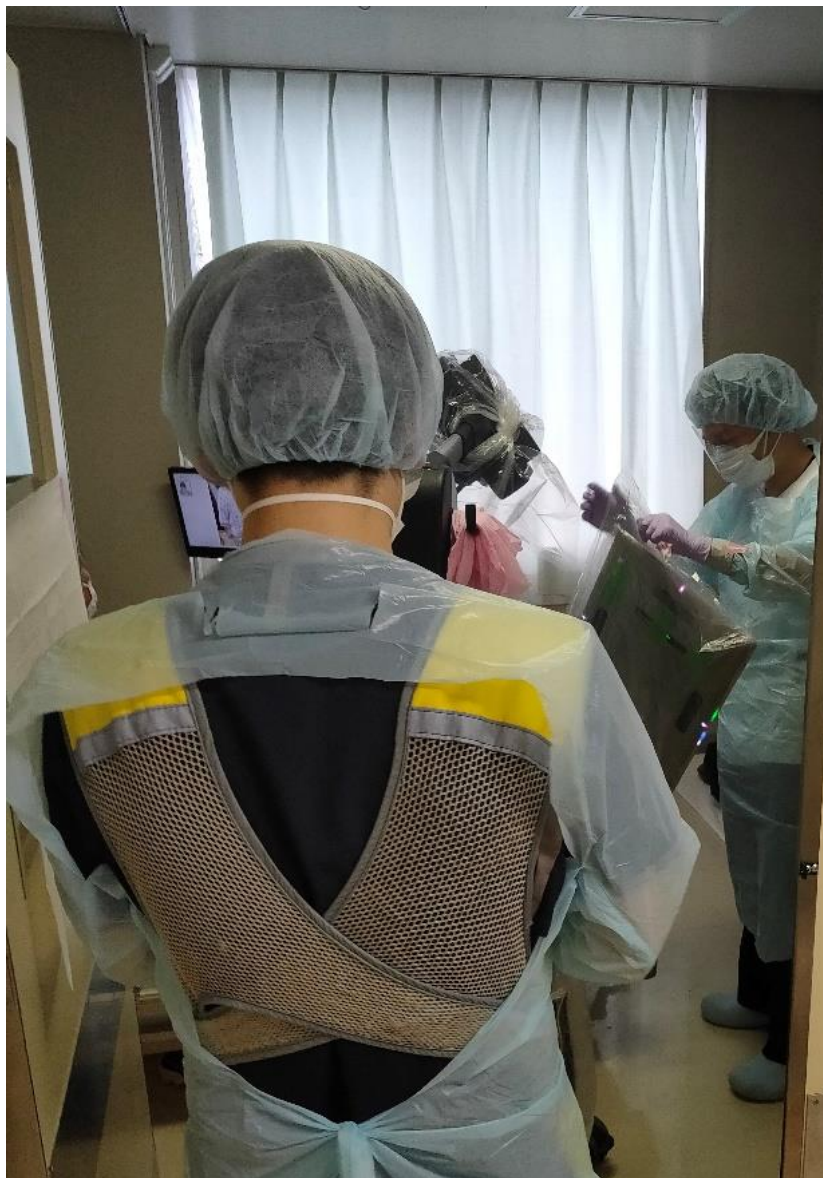
- 技師は感染対策の教育をあまり受けてない
- 毎年、新人に感染症病棟の撮影注意点を教えるのは不安
- COVID19アンギオ、心カテ時先生たちはPPE自分で脱げないので、技師や看護師にも指導してほしい



主任 業務多く
努力家 責任感も強い



現場担当者が負担になりすぎないように
お手伝い 毎年ICTと共同で指導・確認



ダメな事例も入れた教育動画を共同作成
(担当者が毎回指導しなくていいように)

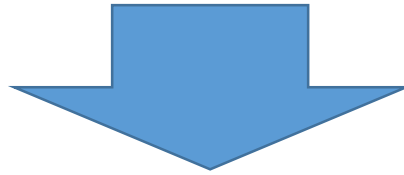
連携の妨げとなった反省点

- 怒って指摘する
- 当事者に突如感染症病棟勤務への異動や病棟閉鎖を告げる



人は弱い

人は弱い、悲しいほどに弱い、問題を起こす。

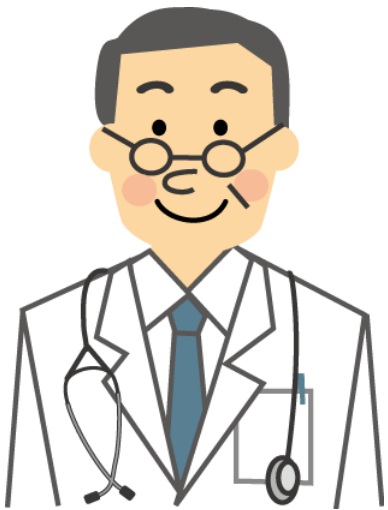


組織の目的は人の強みを生産に結び付け
人の弱みを中和すること



働き甲斐を与える3つの要素

1. 生産的な仕事(本人が自覚する)
 2. フィードバック情報
 3. 継続学習
- が不可欠な要素



《トップマネージャーから》
今院内はどういう状況か
担当者はどんな役割を担うのか
なぜあなた(たち)なのか
⇒結果どうなったか
どれだけ貢献しているか



ICT

20才愛人から半年経ちました。
みなさんお癒れさまでした。
今後も全員協力して感染対策
がんばりましょう！

コロナ立ち向かい
勝利しよう？
頑張れみんな？
私達も頑張ろう！

(HCU さんほめ！)

西2と5南が100%!!

コロナと戦う
職員のみなさんへ

Three hand-drawn cartoon food items. The first is a slice of toast with a face, two red cheeks, and a single tooth. The second is a round bun with a face, two red cheeks, and a single tooth. The third is a round bun with a face, two red cheeks, and three red spots on its body.

30 丁に 30 丁に

カニのついで

スレスレの手
刺さる精神
スレスレの手
肉を切る

1975-1976-1977

かんぼり 西2!
かんぼり 4北!
かんぼり

刘美康说，她是一只会飞的张继的

佐藤 幸生

例 硬張

原稿世之7. 職員入會の件

600 30+10勝23百

中国哲学史中论集卷一

煤 = 腐殖 + 7 的 + 基 (4) /

47086

高橋孝典氏の「環境と政治」

Figure 1

4-1312



2007

（一）高尔基——《海燕》

1990年12月1日



コロナにまけないで！

たくさんのおと
いのちをたのけて
おりがこ
ございます

コロナウィルスに
なりぬれおこに
苦しむ。？
くせじけ

2020 ねん 4 がつ
こうたくじだいにのりいくえん

コロナ

まとめ：効果的だった連携ポイント

1. 現場リーダーと共にマニュアルをつくる
2. 多少過剰対策は許容する(不安・不満が勝つ)
⇒慣れてきた時に改善を提案
3. 初回～数回は実施現場に立ち会う
4. 自分(ICT)の回答待ちにならないよう即返答
(他部署からは特に催促しにくい)
5. 検討は関連する実働トップ全員に集まってもらう



仕事にもスタッフにも 真摯に向き合う

院内外の皆さんに大変
助けられております

